

【視点1】

歴史、伝統、生活に根ざした文化の継承と発展

区内の歴史、伝統、生活に根ざした文化（以下「区内の固有の文化」という）で何が現存し、何が失われたかを検証する。

No1 文化資源のデータベース化

区内の固有の文化の新たな掘り起こし、保存、活用を図る。

No2 浅草芸能文庫の創設

No3 まちの文化探偵団

No4 旧町名の活用

区内の固有の文化を知り、学び、実践する機会を充実する。

No5 親子で文化を学ぶ機会づくり

No6 伝統文化を継承する教育環境づくり

《事業の内容》

No 1 資源のデータベース化

文化財、史跡、伝統行事、祭、文化施設、芸能、伝統工芸、景観、老舗など幅広い文化資源を調査、デジタル資料化し、文化資源の保存、活用に資する。

No 2 浅草芸能文庫の創設

浅草を中心とする大衆芸能をデジタル記録・保存する。
また、その活用方法を検討する。

No 3 まちの文化探偵団

区民や文化団体等と協力し、自分の住むまちの文化資源を発見し、文化資源マップを作成し情報発信するとともに、区民の我がまち意識を育成する。

No 4 旧町名の活用

町名や地名はそれぞれ固有の由来を持っており、そこに生活している人々のルーツを示す。無形の歴史的遺産である旧町名を活用した事業の検討を進める。

No 5 親子で文化を学ぶ機会づくり

紙芝居、剣玉、ベーごまなどの伝承遊びの実施等、親子向けの事業の充実や、文化施設等を活用し親子で文化に触れ合う機会を提供する。

No 6 伝統文化を継承する教育環境づくり

学校教育において、日本の伝統文化に関する教育の普及・啓発を行い、次代を担う青少年を育成する。